



2018年5月28日

報道関係者各位

慶應義塾大学先端生命科学研究所

「温泉とアトピー性皮膚炎」をテーマに受賞

慶應先端研の村上慎之介特任助教に日本温泉気候物理医学会研究奨励賞

慶應義塾大学先端生命科学研究所（山形県鶴岡市、富田勝所長）の村上慎之介特任助教が日本温泉気候物理医学会の第11回研究奨励賞を受賞し、5月19-20日に開催された第83回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会において受賞式が執り行われました。

日本温泉気候物理医学会では2008年度に「研究奨励賞」が設けられ、温泉気候物理医学に関する新しい研究を奨励し、学会の学術研究活動を推進することを趣旨としています。なお、若手研究者の研究を支援する目的で、2つの採択枠のうち1つは45歳以下の若手研究者が優先的に採択されることになっており、村上特任助教は本枠での受賞となりました。

受賞テーマは以下の通りです。

「豊富温泉入浴によるアトピー性皮膚炎抑制メカニズムの解明」

石油を含む温泉水が湧出する豊富温泉（北海道豊富町）は、入浴によってアトピー性皮膚炎や乾癬が改善するとの報告があります。そのメカニズムを明らかにするために、村上特任助教はアトピー性皮膚炎に関する研究実績を有する当研究所の井上浄特任准教授らと共に、アトピー性皮膚炎モデルマウスを用いた研究計画を考案し、これが評価され「研究奨励賞」を受賞しました。

村上特任助教は、「学部時代から先端研に在籍しており、鶴岡に移住して8年目になりますが、山形県と鶴岡市の豊かな食文化や自然の中で研究に従事できていることが非常に幸せです。今回の受賞を糧に、温泉療法をはじめとする予防医療や民間療法の発展に貢献していきたいと考えています」とコメントしています。

村上 慎之介 特任助教 略歴

1988年東京都生まれ、29歳。2013年より日本学術振興会特別研究員（DC1）。2016年に慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了、博士（政策・メディア）。同年より慶應義塾大学先端生命科学研究所特任助教（現職）。2016年より株式会社メタジェン主任研究員、2018年4月より株式会社メタジェン執行役員（現職）。

※本リリースは山形県政記者クラブ、鶴岡市記者会に送信しております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾大学先端生命科学研究所 渉外担当

TEL：0235-29-0802 FAX：0235-29-0809 Email：office@ttck.keio.ac.jp

<http://www.iab.keio.ac.jp/>